

# TOKYO 商工連 Plaza

とうきょう商工連プラザ

2026

5

VOL.389

商工会は 行きます 聞きます 提案します



## CONTENTS

- ② 「令和7年度 第1回臨時総会」開催
- ③ 定期人事交流
- ④⑤ 多摩ものづくり未来応援塾
- ⑥ 「第22回 たま工業交流展」報告  
専門家派遣のご案内  
マル経融資のご案内
- ⑦ 多摩地域商工会エリアの景況(7年度 第4四半期)  
多摩・島しょ地域のイベント(6月~7月)
- ⑧ 多摩おこし・島おこし(株)メイド・イン・スマイル 国分寺市

食を通じて地域に笑顔を  
逆境を笑顔に変える  
経営哲学

株式会社メイド・イン・スマイル

代表取締役 安東 周二郎 氏

P8に関連記事「多摩おこし・島おこし」を掲載

# 令和7年度 臨時総会 開催

第1回 東京都商工会連合会

東京都商工会連合会（都連）は3月30日、「令和7年度第1回臨時総会」を開き、令和8年度の事業計画、一般会計収支予算など9議案を上程し、全議案が可決承認されました。また、令和8年度の事業計画では、4つの基本方針と、それを実現するための11の重点項目（別表）を決定しました。

臨時総会の開会に先立ち山下真一都連会長は、「昨今の円安や米国の関税措置、中東情勢の緊迫化による原油高や物価高騰に加え、人手不足や賃上げ圧力により、中小・小規模事業者を取り巻く環境は厳しさを増しています。さらに本年1月には「下請け」という言葉が廃止され、「下請法」は「中小受託取引適正化法（取適法）」へと改正・施行されるなど、取引適正化の動きが進んでいます。より一層の組織的かつ連携した支援の強化が求められており、金融支援や価格転嫁対策、人手不足対策、DX推進の加速などの充実に向けた働きかけを行うとともに、適正取引の推進や経営相談等を通じ、事業者の課題解決と持続的発展に取り組んでまいります。」と述べました。

多摩・島しょ地域の中小・小規模事業者は、物価高騰や国際情勢の影響により先行き不透明な状況が続いています。さらに地域特性に応じた経済環境と課題に直面しており、多摩地域では技術力や人材資源を強みとする一方、人手不足や事業承継、原材料高騰への対応が課題です。島しょ地域では観光資源等の潜在力がある一方、物流コストや人口減少、担い手不足といった課題を抱えています。

都連ではこうした地域特性を十分に考慮しつつ、中小・小規模事業者への伴走型支援を一層推進して参ります。新たに策定した「2035年多摩島嶼商工会等ビジョン」に基づき、基本理念である『理解され、信頼され、利用される』商工会～変化に対応した経営支援を通じて事業者と地域の未来に貢献する～の実現に向けて取り組んでいきます。

近年の経営課題は多様化・高度化していることから、職員の専門性向上と商工会全体の総合的な支援力の底上げを行います。特に価格転嫁や事業

承継については、専門家派遣事業の積極的な実施や、助成金支援など多面的かつ継続的な支援を推進します。

さらに、多摩・島嶼地域における観光振興は、地域の持続的発展と活性化に不可欠であることから、「多摩観光推進協議会」での取り組みや、「東京諸島観光連盟等関係団体」と連携した事業を積極的に実施していきます。

これらの取組により、「2035年多摩島嶼商工会等ビジョン」の第Ⅰ期（2026～2035年度）行動戦略である「事業者支援の強化とサービスの向上」、「組織力強化と地域経済団体としての価値向上」、「運営体制の再構築」の3項目を着実に推進していきます。



▲臨時総会の模様

## 4つの基本方針

- ◎経営基盤の強化
- ◎人材確保および育成の推進
- ◎DXおよびGXへの対応
- ◎地域経済の活性化と連携強化

## 基本方針を達成するための11の重点項目

- ①経営指導員等職員の支援力強化と商工会利用の促進
- ②小規模事業者の持続的発展に寄り添う商工会組織力の強化
- ③2035年多摩島嶼商工会等ビジョンの周知と着実な実行
- ④情報セキュリティと安全管理体制の強化
- ⑤高度化・多様化する経営課題に対応する相談、支援の充実
- ⑥多摩地域の産業振興の推進
- ⑦島しょ地域の産業振興の推進
- ⑧財政力向上支援の強化
- ⑨多摩・島しょ地域の発展と多摩の観光・産業振興ネットワーク構築に向けた取り組み
- ⑩自然災害等に対する支援の継続
- ⑪政策提言及び意見活動

## 人事交流

### ▼定年退職

(3月31日)▽瑞穂町 事務局長 海和将也▽昭島市  
課長補佐 福島茂

### ▼退職

(3月31日)▽再雇用 清瀬 主事事務 平原紀子▽  
八丈町 記帳 浅沼隆太▽瑞穂町 記帳 西野秀平  
東京都商工会連合会と各商工会は、4月1日付けで定期  
人事交流を行いました。

(4月1日)

**【国分寺市】**▽課長(国分寺市 課長補佐)吉田直哉▽  
新規採用 記帳 阿部若菜

**【清瀬】**▽事務局長(都連 課長)柿沼尉也▽主事事務  
(東村山市 主事事務)菅原真弓▽新規採用 記帳  
西澤泰志▽再雇用 主事(再雇用 主事)古川裕朗

**【小平】**▽課長補佐(都連 課長補佐)富永裕一郎▽業  
務(都連 業務)室田清美▽再雇用 主事(再雇用 主  
事)菅原康宏

**【小金井市】**▽再雇用 主事(再雇用 主事)伊藤啓一

**【西東京】**▽課長補佐(西東京 係長)井上勲▽課長補  
佐(西東京 係長)村上功▽新規採用 係長 高野哲  
也▽再雇用 主事(再雇用 主事)池田領司

**【狛江市】**▽業務(三鷹 業務)新妻大典

**【大島町】**▽勤務延長 事務局長(勤務延長 事務局  
長)植松隆

**【調布市】**▽主事(清瀬 記帳)立田龍麻

**【福生市】**▽課長補佐(瑞穂町 課長補佐)比留間武

**【東久留米市】**▽新規採用 記帳 立林ひなの

**【東村山市】**▽係長(武蔵村山市 係長)指田英樹▽記  
帳(都連 業務)則俊月花

**【国立市】**▽主事(国立市 業務)小杉奈緒▽主事事務  
(狛江市 主事事務)寺田美由紀▽新規採用 記帳  
渡辺裕大

**【あきる野】**▽課長(あきる野 課長補佐)森田陽一▽課  
長補佐(西東京 課長補佐)米原慎二▽係長(日の出町  
係長)中嶋瞬▽新規採用 記帳 中川楓

**【東大和市】**▽係長(東大和市 主事)古川貴章

**【武蔵村山市】**▽主事(武蔵村山市 記帳)高橋優貴▽  
主事事務(東久留米市 主事事務)久保田聡

**【八丈町】**▽勤務延長 事務局長(勤務延長 事務局  
長)吉岡正▽新規採用 業務 渡辺穰

**【稲城市】**▽係長(羽村市 係長)岡田真樹▽主事事務  
(稲城市 業務)宮村麗夏

**【羽村市】**▽係長(羽村市 主事)新島尚也▽主事(国立  
市 主事)山崎幸子▽主事事務(日の出町 主事事務)  
山口智恵

**【三宅村】**▽再雇用 事務局長(再雇用 事務局長)村

### 新事務局長



清瀬事務局長  
柿沼 尉也



瑞穂町事務局長  
芦澤 毅士

上康

**【瑞穂町】**▽事務局長(清瀬 事務局長) 芦澤毅士▽  
記帳(小平 業務)高水柚花▽再雇用 主事(瑞穂町  
事務局長)海和将也

**【昭島市】**▽勤務延長 事務局長(勤務延長 事務局  
長)武藤茂▽係長(昭島市 主事)千葉和平▽主事(都  
連 主事)坂井智子

**【新島村】**▽勤務延長 事務局長(勤務延長 事務局  
長)前田明▽課長補佐(新島村 係長)西胤輝之進

**【神津島村】**▽再雇用 事務局長 主事兼務(再雇用  
事務局長 主事兼務)土谷良頭

**【小笠原村】**▽課長(小平 課長)栗原明生

**【日の出町】**▽勤務延長 事務局長(勤務延長 事務局  
長)田中剛▽係長(あきる野 係長)星野佑介▽記帳(福  
生市 記帳)川浦涼大▽再雇用 主事(再雇用 主事)  
田中庸仁

**【都連】**▽勤務延長 事務局次長 総務課長事務取扱  
(勤務延長 事務局次長 総務課長事務取扱)小林義  
浩▽総務課 総務担当課長(地域振興課 課長補佐)  
大口主真▽勤務延長 多摩観光推進協議会事務局  
事務局長(勤務延長 多摩観光推進協議会事務局 事  
務局長)酒井一成▽企業支援課 課長補佐(企業支援  
課 係長)小谷田学▽企業支援課 係長(東村山市  
係長)松本祐太▽総務課 係長(国分寺市 主事)望月  
邦明▽勤務延長 総務課 主事(勤務延長 総務課  
人事給与制度担当課長)渡邊敏政▽総務課 主事事務  
(総務課 業務)春川政江▽再雇用 組織支援課 主  
事(再雇用 組織支援課 主事)高橋誠▽再雇用 企  
業支援課 主事(再雇用 企業支援課 主事)石川善  
則▽再雇用 企業支援課 主事(再雇用 稲城市 主  
事)新藤斉▽新規採用 多摩観光推進協議会事務局  
業務 益田七海

地域名は商工会名。都連は東京都商工会連合会、業務  
は業務支援員、記帳は記帳相談員の略です。

## 多摩地域の将来のものづくりを担う人材の成長を応援

# 「多摩ものづくり未来応援塾(第2期)」を8名が卒業

多摩地域の将来のものづくりを担う人材の成長を応援するため「東京都商工会連合会(都連：山下真一会長)」と「多摩ものづくり応援団(応援団：団長(株)相馬光学浦信夫会長)」が運営する「多摩ものづくり未来応援塾(第2期)(以下では、応援塾)」が終了。2月26日の卒業発表を経て2期生8名が無事に卒業しました。令和7年度は図表1に示すように7回の応援塾と1回の特別講義を行いました。「出会い」「学び」「交流」により塾生の成長を応援する応援塾について紹介します。

図表1 令和7年度「多摩ものづくり未来応援塾」

- ◆日 時：原則毎月第3木曜日  
18:00～21:00(特別講義及び第3回、第6回は別)
- ◆会 場：産業サポートスクエア・TAMA  
東京都商工会連合会会議室(特別講義及び第3回は別会場)
- ◆参加費：無料(但し実習等で必要な費用は自己負担)

日 程	内 容・講 師
8月28日(木) 18:00～21:00	【開講前オリエンテーション】 多摩ものづくり未来応援塾とこれからのものづくりについて 講師：第1期生(3名)
9月18日(木) 18:00～21:00	【開講式】 第1回 これからのものづくり、これまでのものづくり (I) 講師：静岡県立大学・兵庫県立大学大学院客員教授 多摩ものづくり応援団副団長 小川正博 氏
10月6日(月) 15:30～17:00	【特別講義】 会場：ホテルエミシア東京立川 会議室 これからのものづくり、これまでのものづくり (II) 講師：西武信用金庫理事長 高橋一朗 氏
10月16日(木) 18:00～21:00	第2回 これからのものづくり、これまでのものづくり (III) 講師：株式会社相馬光学代表取締役 浦明子 氏 株式会社ナガセ代表取締役社長 長瀬雄一郎 氏 有限会社藤電設工業取締役社長 高橋翼 氏
11月20日(木) 14:00～17:00	第3回 ものづくり中小企業における経営戦略と製品開発 講師：株式会社エイム会長 多摩ものづくり応援団員 小山孝 氏
12月18日(木) 18:00～21:00	第4回 DXで磨きかける、ものづくり中小企業の優位性 講師：杉並電機株式会社代表取締役社長 福田礼彦 氏
1月15日(木) 18:00～21:00	第5回 ものづくり中小企業の製品開発と販路開拓 講師：株式会社ミュージック35代表取締役 谷口栄美子 氏
2月26日(木) 15:00～18:00	第6回 卒業発表 これからのものづくりについての私の考え方 【閉講式】

### ■先輩の1期生による開講前オリエンテーション

応援塾に対する理解を深めたくうえで参加してもらうため、先輩の1期生を講師に迎え、開講前オリエンテーションを実施しました。先輩塾生の話と交流により「応援塾の参加イメージがより具体的になった」、「1期生との交流で応援塾の雰囲気がわかった」等の声がありました。

### ■「これからのものづくり、これまでのものづくり」をテーマに3回連続で開催

塾生には広い視野と自身の立ち位置を理解してもらうため、同じテーマで中小企業を知る学識者、多摩地域の金融機関のトップ、中小製造業経営者を講師に実施しました。

### (1)第1回：多摩ものづくり中小企業は事業変革を

開講式に続き小川副団長から講義がありました。東京のものづくりといえば多摩といわれるように多摩には優れた企業が多いが、事業環境の変化に対応するためにはイノベーションをしなければ生き残れないとの話がありました。また、中小企業がイノベーションを推進して成長した事例も紹介されました。塾生は、多摩のものづくり企業として発想力や行動力によってイノベーションを起こせることに自信を持つことができ、応援塾がスタートしました。

### (2)特別講義：時代の変化への対応～待っていた時代がやってきた～

西武信用金庫の高橋理事長は、わが国が初めて経験する少子化による「人口減少」社会について、中小企業にとって待っていた時代がやってきたと、自身の経験に基づき数字を交えて話されました。大量生産・大量消費・価格競争の時代が終焉し、個別ニーズに応じた丁寧なマーケティングや高付加価値の製品が求められ、顧客、ユーザーに近い中小企業の強みが活かされるとの内容でした。

講義終了後の交流会では講師、応援団員、塾生、塾生OB間の積極的な交流が行われました。参加者からは「時代と社会情勢を示す数字の裏付けにより非常に分かりやすく興味深かった」、「時間が短く感じた」、「中小・小規模企業の活路や可能性を学べた」等の声がありました。

### (3)第2回：3名の先輩経営者の本音を聞き、和やかに交流

多摩地域の中小製造業経営者である(株)相馬光学の浦明子社長、(株)ナガセの長瀬雄一郎社長、1期生の(有)藤電設工業の高橋翼社長を講師に小澤都連事務局次長が進行するユニークな形式の講義。光学機器メーカー、ヘア絞り加工、精密板金と事業内容も違う3名が自社のものづくりの特徴、経営の現状、今後のものづくりについて本音で語りました。

後半は、講師が交代で塾生を回るスタイルで交流が進みました。塾生からは「三者三様の意見がある一方で、人や仕事に対して共通する点もあった」、「交流の時間が短く感じた」。また、「1台でも必要な方がいれば製品化する」、「1代目は創業者、2代目・3代目も創業者」、「社員のやる気スイッチを押すことが大事」との言葉が印象に残ったようでした。

講師陣による真剣で熱い講義と、楽しく和やかな雰囲気での交流は塾生がこれからのものづくりを考えるきっかけとなりました。



▲第2回：先輩経営者3名による対談形式の講義

### ■第3回：メーカーを目指す経営戦略と製品開発 (工場視察と現地講義)

応援団員の(株)エム小山孝会長を講師に、企業を訪問しての現地講義。工場見学後に「ピンチから生まれたコアコンピタンス経営」と題して、19歳の時のメーカーになりたいという思いから、経営が厳しい中でも経営の勉強と製品開発を続けてきた経験が語られました。製品開発では、自社の強みを溶接技術力と決め、ファイバーレーザー溶接機や水素カプセルを自社開発しています。経営面では社員を守る強い会社になるため、社員とベクトルを合わせるための朝礼、全員参加の経営発表会等の様々な取り組みを進めています。さらに受発注・生産管理システムの開発販売や、カンボジアでの中学校校舎寄贈等、企業活動は多岐にわたっています。

交流タイムには、子息の小山慎吾社長も参加し、会長と社長に同じ質問が投げかけられるなど活発に進みました。塾生からは「何回もの逆境を乗り越えて、今の会社があるのだと思った」、「事業継承後の思いやビジョン、苦勞が理解できた」、「工場見学と講義が一体となり非常にリアリティがあった」等。

### ■第4回：工場IoT化の実践に学ぶものづくり中小企業のDX

自社工場でIoT化を進めている杉並電機(株)福田礼彦社長を講師に、中小企業がDXにどう取り組んだらよいかをテーマに実施しました。まず「DXになぜ取り組むのか」を考えるためブレインストーミングを行いました。その後、同社のIoTの実践例について詳しい講義がありました。

塾生からは「独自にモニタリング環境を構築しており素晴らしく、興味を感じた」、「IoTの始めやすい内容の紹介は、DXの入口として参考になった」、「ブレインストーミングで視野が広がり、自社でも定期的に行っていきたい」等の声がありました。

また、工場見学の希望が多かったため、福田社長の協力により今年1月22日に応援塾の「特別グループ研修」として「生産現場のIoTを見て体験」を実施しました。参加者はIoT活用の現場を見学し、自らつくるIoTを体験しました。



▲第3回:工場視察後の講義と交流



▲第4回:DXについてグループでブレインストーミング

### ■第5回：自社製品開発と販路開拓にもつくり中小企業がどう取り組むか

講師は(株)ミューテック35の谷口栄美子社長で、1期生の谷口翠取締役(次女)も同席されました。講義では自社ブランド(THE BLOSSO等)開発の経緯や販路開拓の苦勞、それをどう乗り越えたかが語られました。また、主婦から経営者への転身、経営危機への対応、経営理念の成文化、従業員との関係の変化など具体的な内容が示されました。さらに自社ブランドを持つことで優秀な人材が確保され、人と現場が変化して次の成長を生んでいると話されました。

塾生からは「製品化から販売するまでのストーリーが聞け、貴重な機会だった」、「展示会出展の考えが独特で販路開拓の参考になった」、「仕事人としての活力を感じ話していて楽しかった」との声がありました。

### ■第6回：「これからのものづくりについての私の考え方」の卒塾発表

成果発表は自由形式で、1人当たり8分間の発表と7分間の質疑を行いました。発表内容は「出会い」「学び」「交流」から得たものに触れられており、塾生による質疑も活発に行われました。

閉講式では、浦団長から一人ひとりに卒塾証書が手渡され、塾生の笑顔が見られました。最後に浦団長と渡辺都連専務理事を囲んでの記念撮影を行いました。



▲第6回:発表に対して塾生からの質問が相次ぎ活発な質疑を展開

その後の卒塾交流会には応援団員や事務局も参加し、大いに盛り上がりしました。今回できたつながりがさらに深まり発展していくことが期待されます。

### ■未来応援塾の成果と今後について

2期目の令和7年度応援塾は、塾生の成長を応援することができました。2期生のネットワークは、情報交換や取引等にまで広がっています。応援団はこうした取り組みを、都連とともに引き続き応援していきます。

なお、令和8年度「多摩ものづくり未来応援塾(第3期)」については7月に塾生募集を行う予定です。



▲令和8年2月26日の応援塾(第2期)閉講式  
浦団長と渡辺都連専務理事を囲む2期生8名

来て!見て!知ろう!  
多摩の技術力!!

# 第22回 たま工業交流展

多摩地域の171の  
企業・団体が出展

多摩地域の中小企業が有する技術や製品を展示し、優れた製品開発力、加工技術力を紹介する「第22回 たま工業交流展」が2月19日、20日の2日間、八王子市「東京たま未来メッセ」にて開かれました。

同展は、立川市、昭島市、武蔵村山市、羽村市の4市と、東京都立多摩産業技術研究センター、東京都中小企業振興公社多摩支社、青梅商工会議所、立川商工会議所、東京都商工会連合会、多摩

地域の10商工会、3信用金庫など21団体で構成される「たま工業交流展実行委員会」が主催し、経済産業省関東経済産業局、日本商工会議所、マスコミ各社が後援しています。

過去最多となる171のブースが設けられ、5つのゾーンに機械・金属・電気機器など81社、環境関連9社、情報関連・ソフト開発が22社、その他の製造業36社、学校関連・協力団体が18の団体と3大学2機関が出展しました。



## 専門家派遣のご案内

最大  
12回

無料



経営に関するお悩みや課題の解決に向け、専門家とコーディネーターがサポートします!!

- 事業承継の準備をしたい
- 後継者の育成が難しい
- 販路開拓の相談をしたい など

支援の流れ

お申込み

コーディネーターによる  
ヒアリング

専門家の選定、派遣

支援開始

お近くの商工会までご相談ください。WEBでお申し込みの方はコチラから



多摩・島しょ経営支援拠点 東京都商工会連合会

\*「多摩・島しょ経営支援拠点」は東京都商工会連合会が行っている事業で、多摩・島しょ地域の商工会・商工会議所との連携機関です。

商工会に  
ご相談ください!

## マル経融資を活用しませんか?

小規模事業者のための無担保・無保証人のマル経融資制度をぜひご活用ください。  
商工会は、皆さまの経営・資金繰りを**全力でサポート**します!



### マル経融資(小規模事業者経営改善資金融資制度)

融資対象	常時使用する従業員が商業・サービス業:5人以下(*)、 製造業・その他:20人以下の事業者
ご融資額	2,000万円以内
お使いみち	運転資金および設備資金 【運転資金】仕入資金、買掛金決済資金、給与支払資金 等 【設備資金】店舗改装費、営業車両購入費、機械・什器等の購入費 等
ご返済期間	10年以内(うち据置期間2年以内)
利率(年)	2.50%(令和8年4月1日現在)
融資機関	日本政策金融公庫



### マル経融資 3つの特長

- POINT 1 担保不要!
- POINT 2 保証人不要!
- POINT 3 低金利!

#### 申込の主な要件

- 1 商工業者(最近1年以上、同一商工会の地区内で事業を行っている事業者(移転の場合、移転直前居住地で1年以上事業を行っている場合を含む))  
※融資機関の非融資対象業種等は対象外
- 2 商工会の経営指導を受けていること(原則6か月以上。移転の場合は、移転前の指導期間を含む)
- 3 所得税、法人税、事業税等を原則としてすべて完納していること

(\*)宿泊業および娯楽業にあっては20人以下

## 東京都 事業者向け熱中症対策支援のお知らせ

近年の気温の上昇に伴い、職場環境における熱中症のリスクが深刻化しています。東京都では「2050東京戦略」のもと、熱中症対策の推進とともに、事業所における対策の一助として支援策を展開しています。ぜひご活用いただき、暑さ対策の更なる強化をお願いいたします。

### 《事業者向け支援の一例》

**ゼロエミッション化に向けた省エネ設備導入・運用改善支援事業(助成金)**  
高効率空調設備などの省エネ設備や人感センサー導入などの運用改善を実施した事業者へ最大4,500万円助成

**暑さに配慮した職場環境づくり支援事業(奨励金)**  
WBGT値(暑さ指数)の活用、熱中症予防対策等を行った事業者へ奨励金の支給(20万円/募集企業1,000社)

クールネット・東京  
公式HP



東京しごと財団  
公式HP



熱中症対策  
ポータルサイト



Tokyo  
支援ナビ



その他の支援や詳細は「Tokyo支援ナビ」へ <https://www.support-navi.metro.tokyo.lg.jp/top>

中小企業  
景況調査

# 多摩地域商工会エリアの景況

7年度  
第4・四半期  
1~3月

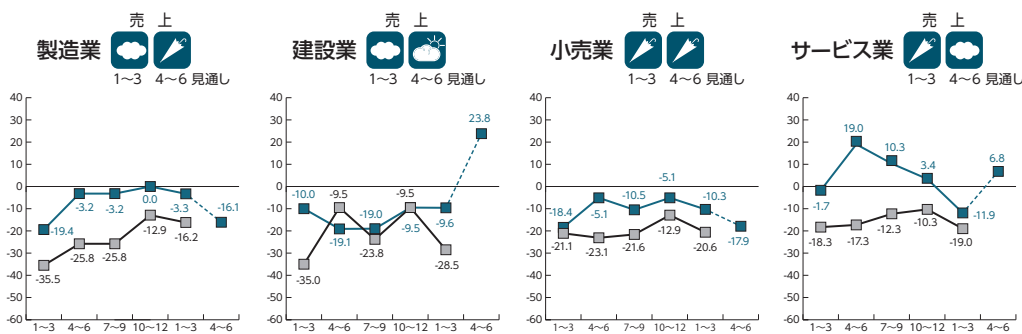
**製造業** 売上DI、採算DI、資金繰りDIのいずれも悪化。経営上の問題点の第1位は「需要の停滞」から「原材料価格の上昇」に変わる。

**小売業** 売上DIと採算DIは悪化、資金繰りDIは改善。経営上の問題点の第1位は18期連続「仕入単価の上昇」。

**建設業** 売上DI、採算DI、資金繰りDIのいずれも悪化。経営上の問題点の第1位は20期連続「材料価格の上昇」。

**サービス業** 売上DI、採算DI、資金繰りDIのいずれも悪化。経営上の問題点の第1位は16期連続「材料等仕入単価の上昇」。

売上高(前期比DI)・採算(期中DI)の推移



注1. サンプルは多摩地域150企業原数値採用。 注2. DIマーク ※:+30~ ☆:+10~+30 ◯:+10~-10 ▲:-10~-30 ▼:-30~  
注3. 売上DI(景気動向指数)は「増加」-「減少」の値、採算DIは「好転」-「悪化」の値。 注4. 集計方法の変更のため今期より掲載内容を変えます。

## 6月7月 多摩・島しょ地域のイベント

中止あるいは延期されることもあります。念のため、主催者に日にち・会場などをご確認の上、お出かけください。

日程	イベント名	会場	主催者・問合せ先
6月 5月30日(土)~6月14日(日)	東村山市 第38回東村山菖蒲まつり 露店及びイベント	北山公園	東村山菖蒲まつり実行委員会 (東村山市:042-393-5111) (東村山市商工会:042-394-0511)
6日(土)	新島村 第15回式根島マラソン大会 6kmの部、12kmの部(個人、小学生6km)	式根島特設コース	東京アイランドシリーズ大会事務局 (042-379-2585)
7月 4日(土)	新島村 第32回新島オープンウォータースイミング A:4.5km、B:3km、C:1.5kmの3タイプのスイムレース	新島村本村特設コース	東京アイランドシリーズ大会事務局 (042-379-2585)
4日(土)~5日(日)	国立市 第38回くにたち朝顔市 くにたち「朝顔の里」産、日本朝顔の販売	JR国立駅南口大学通り緑地帯	くにたち朝顔市実行委員会 (042-575-1000)
18日(土)~19日(日)	八丈町 第54回八丈島夏まつり 夜店出店・ステージイベント	八丈町庁舎特設会場	八丈島夏まつり実行委員会 (04996-2-2121)
19日(日)	狛江市 狛江古代カップ第34回多摩川いかだレース 手作りのいかだで多摩川を下り、スピードとデザインを競う	多摩川五本松~ 宿川原堰堤前	狛江市役所 地域文化スポーツ部 産業振興課 (03-3430-1111)
25日(土)~26日(日)	三宅村 第31回ふれあいらんど三宅島マリンスコレ21フェスティバル 三宅島の夏の一大イベント(商工まつり)	錆ヶ浜港駐車場	三宅村商工会 (04994-2-1381)
25日(土)	日の出町 第22回ひので夏まつり 花火、イベント、模擬店、キッチンカー出店	日の出町民グランド	ひので夏まつり実行委員会 (事務局:042-588-4101)

### 日本発明振興協会 あなたの発明・研究・特許を育てよう!

日本発明振興協会(東京都渋谷区)は「第46回 発明研究奨励金」の交付申請の受付を開始しました。同奨励金は、中小企業や個人が発明考案を実施化する際の試験研究資金を支援する事業です。奨励金の交付対象となるのは①特許権として登録済みのもの②実用新案は、登録済みで実用新案技術評価書入手済みのもの。審査の

**発明研究奨励金 交付申請の受付を開始**

上、交付決定者には試験研究に要する直接経費として1件につき100万円を限度に奨励金を交付します。

希望者は、同協会所定の様式の申請書・添付資料各2部他を同協会宛てに提出して下さい。締め切りは7月31日、交付決定は11月です。

申請要領・申請書 同協会のホームページ(<https://www.jsai.org/>)からダウンロードできます。

問い合わせ先 (公財)日本発明振興協会 発明研究奨励金交付事業実行委員会(TEL 03-3464-6991)

締め切り 7月31日

交付決定 11月

## この人に聞く

多摩おとし・  
島おとし食を通じて地域に笑顔  
逆境を笑顔に変える経営哲学

国分寺市

No.49

株式会社  
メイド・イン・スマイル  
代表取締役  
安東 周二郎 氏

東京都国分寺市を中心に5店舗の居酒屋経営や、地域名産品「武蔵国分寺七味」の製造販売を手掛ける株式会社メイド・イン・スマイル。代表の安東氏は、幾多の困難を「人の縁」と「笑顔」で突破し、地域リーダーの一人として歩んでいます。本稿では、安東氏の創業から現在、そして地域と共に歩む未来への想いを紐解きます。

## — 音楽と営業経験が形づくった独立への原点

安東氏のルーツは音楽にあります。高校時代から音楽の道を志し、バンド活動に打ち込んできました。その中で裏方の仕事に魅力を感じ、「自分のライブハウスをつくりたい」と考えるようになります。資金と経験を得るため、大学卒業後はベンチャー企業に営業職として入社。午前は飛び込み営業、午後は子会社の飲食店で現場に立つという過酷な日々を送る中で、飲食経営のやりがいを実感しました。その後、大手求人広告会社へ転職し実績を積み上げますが、同じ日々の繰り返しに疑問を抱き、「10年後もこのままなのか」と自問した末、独立を決意します。

そして2011年に創業し、吉祥寺に居酒屋を構えましたが、当初は赤字が続き契約トラブルによる立ち退きの危機にも直面。資金繰りも大変厳しい状況でしたが、創業時に掲げた「一年に一店舗出店」という目標のもと、多店舗展開をしていきました。安東氏は「一番の正念場はコロナ禍ではなく、この創業時だった」と振り返ります。その後、拠点を地元でもある国分寺市へ移してからは、事業も軌道に乗り始め、さらに店舗数を拡大していきました。

## — 逆境が生んだ地域ブランド

2020年3月に武蔵境店をオープンしましたが、わずか8日後、緊急事態宣言により休業を余儀なくされました。テイクアウト等で顧客との関係性を保つ一方で、雇用の維持も課題となりました。雇用を守るため、そして食に携わる中で強まっていった地域貢献への想いを形にするため、名産品づくりを新たな事業の柱と決め、商工会青年部や行政と相談を重ねました。その過程で国分寺市の特産品のひとつである、江戸東京野菜「東京ウド」の生産減少という問題を知り、地元の宝を守るべく、東京ウドを使った「武蔵国分寺七味」の開発に踏み出しました。2年にわたり試作を重ね、2023年9月に販売を開始しましたが、発売当初は思うように売れず、在庫と借入金を中心に苦労しました。そうした中、青年部の仲間たちが商品を自店の顧客で紹介してくれるなど、安東氏を後押ししてくれました。「こ

の時の仲間への感謝の気持ちや、地域には必ず宝があることを全国の同志に伝えたい」と出場した商工会青年部「令和7年度青年経営者の主張大会」では、東京ブロックで最優秀賞を受賞。その繋がりは大きな力となり、着実な販路開拓へと結びついています。

現在はこの七味を用いたクラフトジンの製造・販売も行っています。地域事業者と協業しながら、商品をきっかけとして地域に足を運んでもらえるような価値創出に向けた取り組みを展開しています。

## — 「人」を育て、次世代へ繋ぐステージ

安東氏は「食を通じて地域に笑顔を」という経営理念のもと、スタッフが「仕事を楽しむ」。そしてその活力がお客様の笑顔に繋がる、「笑顔の輪」を大切にしています。ここで言う「楽しむ」とは、プロとして真摯に仕事に向き合い、手応えや充実感を得る働き方のことです。また、サービスの質を高めることで、他業界に劣らない賃金水準を実現し、働く仲間がステップアップできる独立支援制度を整備するなど、飲食業界の地位向上も目指しています。接客面では、モバイルオーダーなどのデジタルツールはあくまで効率化の手段と割り切り、何より重んじるのは、お客様の細かな表情の変化に気づき、会話を通じて提案する「対話の姿勢」です。こうした心の通う交流こそがスタッフを育て、店舗の活力を支える源泉となっています。

「現在の経営を支えてくれているのは、お客様、お取引先、そして何よりスタッフの存在です」と安東氏は語ります。その言葉通り、ライフステージが変化しても安心して働き続けられるよう、最適な「活躍のステージ」を仲間と創り出しています。現在は次世代への事業承継も見据え、自身の役割をつなぎながら、新たな挑戦にも取り組んでいます。関わる人の中に「笑顔」の連鎖が生まれることを楽しみながら、一歩ずつ広げ続けています。

東京ウドを使用した  
「武蔵国分寺七味」

七味を用いたクラフトジン

株式会社メイド・イン・スマイル

〒185-0012 東京都国分寺市本町3丁目5番14号

URL: <https://musakoku-shichimi.com/>

@sora.\_kokubunji (創笑 国分寺店)



再生紙を使用しています。



編集／発行 東京都商工会連合会

〒196-0033 東京都昭島市東町3-6-1 産業サポートスクエア・TAMA

TEL: 042-500-1140 FAX: 042-500-1421

URL: <https://www.shokokai-tokyo.or.jp/>